

# 知の遊行。

学びを遊びに來ませんか？

まちは、誰のためにあるのですか？

自分の住んでいるまちの未来を人任せにしておいても良いのですか？

まちが人々の想いとは違う方向に進んでしまっても平気ですか？

ハード偏重のまちづくりに満足していますか？

このまちに何か足りないと感じたことはありませんか？

身近なところで、もっと文化や芸術に気軽に触れられたらと、思ったことはありませんか？

With us!!



文化エネルギーによるまちづくり。

あなたの知恵と創造力を貸してくれませんか？

この静岡まちづくりの学校「コラボ」には

様々な創造人が集まっています。

興味深い講師陣が揃っています。

みんなとコラボレーションすることで

新しいネットワークができ、新しい自分も

発見できるかもしれません。

限定30名に許される、知の贅沢です。

静岡まちづくりの学校  
コラボ第3期生募集

# 知識を深め、知恵を高める。

# 聞く。見る。考える。議論する。企てる。提案する。

小嶋善吉学長のあいさつ

静岡まちなりの学校コラボ  
学長  
小嶋 善吉



今、私たちを取り巻く社会的・経済的状況はもちろん、来年4月の清水市との合併を控え、静岡市も大きな変革のときを迎えています。変化に対応しながら私たちのまちを見つめ直し、魅力ある「静岡」を引き出すには皆さんの創意や活力が必要です。市民の皆さんと行政が協働してまちづくりを進めていけば、今以上の魅力あるまちとなることでしよう。静岡まちなりの学校コラボは市民と行政が双方の立場を理解し、まちづくり活動を推進する市民の養成を目指します。静岡が大好きな人、まちづくりに関心のある人、自分の住むまちを今一度、見つめ直してみませんか？

わがまち静岡を  
素敵に変えるためには  
新しい知恵とパワーが必要です。

文化エネルギーがまちを素敵に変える。

急速に進む高度情報化社会、長引く構造不況の中で人々の志向、思いは生活の質的向上、心の豊かさ実現に向かい始めている。経済的豊かさ、物の消費が豊かさのパロメーターであった時代は終焉を遂げ人間が、人間として、より豊かに生きていくことは？そんな疑問を人々は持ち始めている。まちづくりにおいても、生活者の意識の変化とともに新しい視点が求められている。ハードのインフラ整備ではなく、人々の心の豊かさを満たすための仕掛け。これからのまちづくりは、文明エネルギーの側面ではなく文化エネルギー的側面が必要とされる。これは、ヨーロッパに比べ日本のまちづくりが置き去りにしてきた重要な視点である。文化とは、余裕があるから触れるものではない。文化に触れることで心に余裕が生まれるものである。文化とは、経済的に豊かだから企てるものではない。ごく当たり前のこととして行われるべきである。そして、もう一つ大事な点は文化と経済を相反する物としてみるのではなく文化経済という二つの概念で捉えていく必要がある。コラボ第3期では、静岡市における文化振興と文化経済にスポットを当て新しいまちづくりの具体的なプランづくりに着手してみたい。それは、言いかえれば、人間にとって真の豊かさとは？を探る旅でもある。

静岡まちなりの学校コラボ チーフコーディネーター 甲賀雅章

## コラボは、そんなまちづくりの仕掛け人達を育成する創造の学校です。

日程	講座名	講師
7・31	開講式 まちは文化を必要としている	甲賀雅章
8・7	DNA文化遺伝子	佐倉 統
8・21	まちづくりと文化政策	静岡市
9・11	文化経済学	静岡市
9・25	ワークショップ これからのまちづくり	コーディネーター 甲賀雅章
10・9	ワークショップ 静岡市の文化振興プラン	甲賀雅章
10・23	ワークショップ 静岡市の文化振興プラン	静岡市
11・6	文化政策を動かす組織	コーディネーター
11・16	視察(先進事例)	飯島ツトム
12・4	文化にゆままちづくりの実際	古田 菜穂子
12・18	文化にゆままちづくりの実際	コーディネーター
1・15	ワークショップ 静岡市の文化振興プラン	砂川 肇
2・5	ワークショップ 静岡市の文化振興プラン	コーディネーター
2・19	ワークショップ 静岡市の文化振興プラン	コーディネーター
3・5	ワークショップ 静岡市の文化振興プラン	コーディネーター
3・16	ワークショップ 静岡市の文化振興プラン	コーディネーター

●あし一回ほど講座が増える場合は、世界の街むかしを訪問先を予定しています。  
●都合によりカリキュラムの内容・日時等を一部変更する場合があります。

ネガティブな評論家は要らない。  
ポジティブな創造人を育てたい。

募集定員 限定30名。応募者の中から書類選考  
応募資格 静岡市及びその周辺に住んでいるか、静岡市内に勤務している方  
・まちづくりに興味のある方  
・最終までやり抜く決意のある方  
・上記3つの要件を満たす方  
課題 これからの静岡をあなたなら、どうしたいですか？  
(4000字以上までとってください)  
応募方法 応募用紙・課題を添えて文化振興課へ直接持参か郵送 6月28日(金)必着  
文化振興課HPからの申込みも可  
[http://www.city.shizuoka.shizuoka.jp/kanko\\_bu/bunka\\_shinko/](http://www.city.shizuoka.shizuoka.jp/kanko_bu/bunka_shinko/)  
申込み用紙は、市文化振興課及びアイセル21に置いてあります。  
受講料 6,000円、教材費など別途実費負担となる場合があります。  
(受講料の徴収は開講日に行います)  
開講期間 平成14年7月31日～平成15年3月16日  
原則として隔週水曜日 午後7時～9時(全17回程度)  
会場 アイセル21  
主催 静岡市文化振興課 生涯学習担当  
問い合わせ先 〒420-8602 静岡市追手町5番1号  
0554-2221-11025  
0544-2221-11006

**講師プロフィール**

**甲賀雅章** チーフコーディネーター、アートディレクターを経て、建築・商品開発・企業の事業開発・商店街の活性化など、ワールドカップ・コンサルタントとして活動を展開。大道芸・ワールドカップ・P・N・静岡には、準備段階から関わり現在は5年5ヶ月、プロフェッショナルとしてクリエイティブ・プロジェクトを開設し、積極的に創造活動に取り組んでいる。

**砂川 肇** 広島のクリエイター、アートディレクターを経て、建築・商品開発・企業の事業開発・商店街の活性化など、ワールドカップ・コンサルタントとして活動を展開。大道芸・ワールドカップ・P・N・静岡には、準備段階から関わり現在は5年5ヶ月、プロフェッショナルとしてクリエイティブ・プロジェクトを開設し、積極的に創造活動に取り組んでいる。

**古田 菜穂子** 年々数回アメリカに渡り、様々な現象がドクメンタを分析。多くのプロジェクトに参加し、その分析は企業から情報・サテライト・教育・地産地消と多岐にわたっている。近著「シアタールーム」成功の秘訣は「脱マスプロ」の方程式を大胆に伝説した冊子として「マスプロ」でも大きく取り上げられた。

**飯島 ツトム** 大学卒業後、新聞記者、TVディレクター、雑誌のライター、各種広告媒体の企画制作等を経て、映画プロデューサー、アーティストの企画制作、各種シンボリックの総合演出、地域の文化商業施設等のアート拠点づくりのプランニング、ディレクター及びアーティストによるまちづくりを軸としたプロジェクトとして活動。

**佐倉 統** 東京大学大学院情報学助教授。一応専攻は進化生物学だが、最近では科学史から先端科学技術まで、現在はその第一歩として、人間の知識のダイナミクスを生命現象とのアナロジーで記述することに興味を持っている。著書「わたしたちはどこから来てどこへ行くのか」、「道徳子V.S.ミーム」他多数。

# 2002.7.31開校

## 募集人員 限定30名に許される 知の贅沢。